

第4グループ西

第4グループ西 ガバナー補佐 五十嵐 敦子（本庄RC）



新年度のスタートにあたり、地区内各クラブの皆様にご挨拶申し上げます。

このたび第4グループ西のガバナー補佐を拝命いたしました。その責任の重さと同時に、皆様と共に活動できることへの感謝の気持ちでいっぱいです。

2026-27年度オンラインカ・ハキーム・ババロラ国際ロータリー会長は「CREATE LASTING IMPACT」～持続可能なインパクトを生み出そう～とメッセージを発信されました。私たち一人ひとりの小さな行動も、心を込めて積み重ねていくことで、やがて地域の未来を支える大きな力になります。例会で交わす笑顔や言葉、奉仕活動で流す汗、そのすべてが持続するインパクトにつながっていきます。

2026-27年度原島生慈ガバナーは「ロータリー活動に誇りを」と地区活動テーマを掲げられました。私たちの活動が地域社会から信頼され、自らも胸を張って語ることができる、そんな活動の積み重ねが、ロータリーの価値を高め、未来へと繋ぐ力になっていきます。

今年度より、2570地区は従来の5グループ体制から9グループ体制へと移行いたしました。

地区のさらなる活性化と、よりきめ細やかな支援体制の構築を目指す新たな挑戦です。第4グループは西と東に分かれ、西は本庄ロータリークラブ、秩父ロータリークラブ、寄居ロータリークラブ、皆野・長瀬ロータリークラブ。新グループ再編は、新しい可能性の始まりです。クラブと地区の距離感を縮め、対話を重ね、それぞれの強みを生かしながら、第4グループ西としての連帯感を育ててまいります。クラブの声に耳を傾け、寄り添い、共に考え行動するガバナー補佐でありたいと思っています。例会が楽しい、奉仕活動が誇らしい、仲間との語り合う時間が心地よい。その積み重ねこそが、持続可能なクラブづくりにつながります。

私自身も常に学びの姿勢を忘れず、誇りを胸に、実り多き一年にしていきたいと思っています。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。